

笛吹市八代町周辺ルート



③⑤ 狐塚古墳

③⑤ 狐塚古墳
5世紀後半の帆立貝式古墳。鉄製の武器や埴輪などが発見された。周りはブドウ畑。笛吹市の史跡。【所】笛教



③⑦ 団栗塚古墳

③⑦ 団栗塚古墳
5世紀後半に造られた帆立貝式古墳。県の指定文化財である青銅鏡などが出土した。笛吹市の史跡に指定されている。古墳の上には石室の石があり、神社が建っている。



③⑦ 団栗塚古墳出土の青銅鏡



① 身洗沢遺跡出土の木製農具



笛吹八代スマートIC
(黄色区域)

① 身洗沢遺跡
県内では数少ない弥生時代の水田や農耕で使用した木製品が発見された遺跡。県内最古の木製農具は県の指定文化財である。【展】考古博【所】考古博・笛教

① 身洗沢遺跡
県内では数少ない弥生時代の水田や農耕で使用した木製品が発見された遺跡。県内最古の木製農具は県の指定文化財である。【展】考古博【所】考古博・笛教



③⑧ 真根古塚古墳

③⑧ 真根子塚古墳
5世紀後半に造られた円墳。墳丘はすでにないが、古墳のあった場所に石碑が建っている。



③④ 地藏塚古墳

③④ 地藏塚古墳
6世紀に造られた横穴式石室をもつ大きな円墳。石室は特に良く残っていて、中にはお地藏さんが祀られている。笛吹市指定の史跡である。



③⑥ 南北熊野神社

③⑥ 伊勢塚古墳・無名墳
南北熊野神社境内には伊勢塚古墳と無名墳の二つの古墳がある。神社には県指定文化財である団栗塚古墳から見つかった青銅鏡や鎌倉時代の「絹本着色能野曼荼羅」や笛吹市指定文化財である熊野社篇簡「長寛勘文」の写本が保管されている。